

河川事業の再評価説明資料
〔小矢部川直轄河川改修事業〕（令和3年11月）
の修正内容について

令和4年（2022年）12月

北陸地方整備局
富山河川国道事務所

費用便益分析への影響について

- 「治水経済調査マニュアル(案)各種資産評価単価及びデフレーター」の各種資産評価単価の訂正に伴い、第2回小矢部川水系流域委員会で審議いただいた事業における、費用便益分析への影響は下記のとおり。

事業名	評価区分	審議日	貨幣変換した便益(億円)			費用便益分析B/C		
			以前	→	訂正後	以前	→	訂正後
小矢部川直轄河川改修事業	再評価	R3.11.11	2,459	→	2,458	24.4	→	24.4

- 数値の訂正、算出内容の修正により、事業の貨幣換算した便益が減少
- 費用便益分析B/Cは第2回小矢部川水系流域委員会資料から変化なし

5. 事業の投資効果 (1)費用対効果分析 ③費用対効果の算定 P8

修正前

①第2回小矢部川水系流域委員会時配付資料

5. 事業の投資効果 (1) 費用対効果分析 ③費用対効果の算定

- 河川改修事業の全体事業の総便益は2,459億円、総費用は101億円、B/Cは24.4。
- 残事業の総便益は780億円、総費用は52億円、B/Cは14.9。

[河川改修事業に関する総便益 (B)]

全体事業に対する総便益(B)	
①被害軽減効果	2,456億円
②残存価値	3億円
③総便益(①+②)	2,459億円

残事業に対する総便益(B)	
①被害軽減効果	777億円
②残存価値	3億円
③総便益(①+②)	780億円

[河川改修事業に関する総費用 (C)]

全体事業に対する総費用(C)	
④建設費	94億円
⑤維持管理費	7億円
⑥総費用(④+⑤)	101億円

残事業に対する総費用(C)	
④建設費	46億円
⑤維持管理費	6億円
⑥総費用(④+⑤)	52億円

[算定結果 (費用便益比)]

$$B/C = \frac{\text{便益の現在価値化の合計} + \text{残存価値}}{\text{建設費の現在価値化の合計} + \text{維持管理費の現在価値化の合計}} = \begin{matrix} 24.4 \text{ (全体事業)} \\ 14.9 \text{ (残事業)} \end{matrix}$$

※便益、費用は年4%の割引率で割り引いて現在価値化しています。
※四捨五入しているため、合計値が合わない場合や、費用対効果算定資料と一致しない場合があります。

[感度分析]
(全体事業)

項目	残事業費		残工期		資産	
	+10%	-10%	+10%	-10%	+10%	-10%
費用対便益	23.3	25.5	24.4	24.2	26.8	21.9

5. 事業の投資効果 (1)費用対効果分析 ③費用対効果の算定 P8

修正後

5. 事業の投資効果 (1) 費用対効果分析 ③費用対効果の算定

- 河川改修事業の全体事業の総便益は**2,458億円**、総費用は101億円、B/Cは24.4。
- 残事業の総便益は**779億円**、総費用は52億円、B/Cは14.9。

[河川改修事業に関する総便益 (B)]

全体事業に対する総便益(B)	
①被害軽減効果	2,455億円
②残存価値	3億円
③総便益(①+②)	2,458億円

残事業に対する総便益(B)	
①被害軽減効果	776億円
②残存価値	3億円
③総便益(①+②)	779億円

[河川改修事業に関する総費用 (C)]

全体事業に対する総費用(C)	
④建設費	94億円
⑤維持管理費	7億円
⑥総費用(④+⑤)	101億円

残事業に対する総費用(C)	
④建設費	46億円
⑤維持管理費	6億円
⑥総費用(④+⑤)	52億円

※便益、費用は年4%の割引率で割り引いて現在価値化しています。
※四捨五入しているため、合計値が合わない場合や、費用対効果算定資料と一致しない場合があります。

[算定結果 (費用便益比)]

$$B/C = \frac{\text{便益の現在価値化の合計} + \text{残存価値}}{\text{建設費の現在価値化の合計} + \text{維持管理費の現在価値化の合計}} = \begin{matrix} 24.4 \text{ (全体事業)} \\ 14.9 \text{ (残事業)} \end{matrix}$$

[感度分析]
(全体事業)

項目	残事業費		残工期		資産	
	+10%	-10%	+10%	-10%	+10%	-10%
費用対便益	23.3	25.5	24.3	24.2	26.8	21.9

①
反映
資料

5. 事業の投資効果 (2) 氾濫シミュレーション結果 全体事業の投資効果 P9

修正前

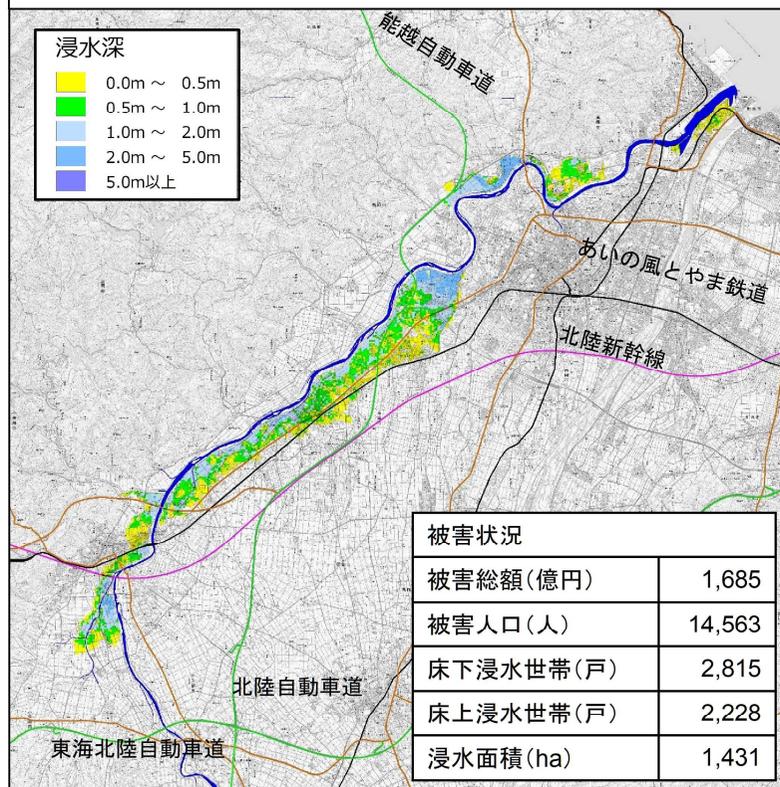
5. 事業の投資効果 (2) 氾濫シミュレーション結果 全体事業の投資効果

■ 事業実施により、戦後最大洪水と同規模の洪水が発生した場合の想定氾濫被害が、被災人口で約14,600人、床上浸水戸数で約2,200戸、浸水面積で約1,400ha解消される。(図5-1)

戦後最大規模と同規模の洪水における浸水区域 (図5-1)

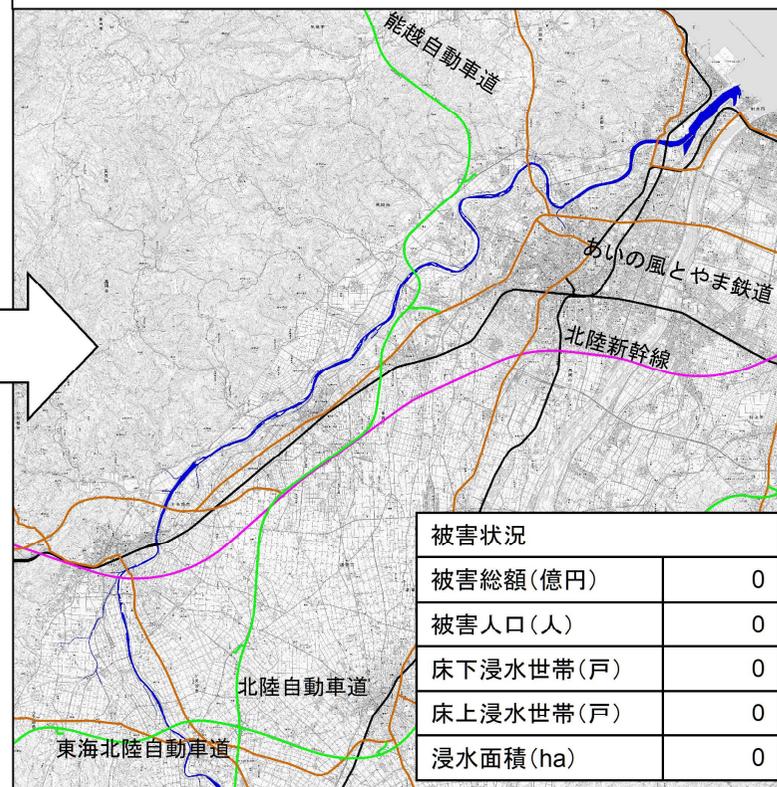
①事業を実施しなかった場合

【河川整備計画着手時点 (平成26年度末時点 (2014年度))】



②事業を実施した場合

【河川整備計画完了時点 (令和26年度末時点 (2044年度))】



※ 上図は「治水経済調査マニュアル(案)」に基づき、各氾濫ブロックで被害が最大となる破堤地点1箇所からの想定氾濫区域及び浸水深を示しているものであり、この他にも破堤が想定される箇所は存在する。

②第2回小矢部川水系流域委員会時配付資料

5. 事業の投資効果 (2) 氾濫シミュレーション結果 全体事業の投資効果 P9

修正後

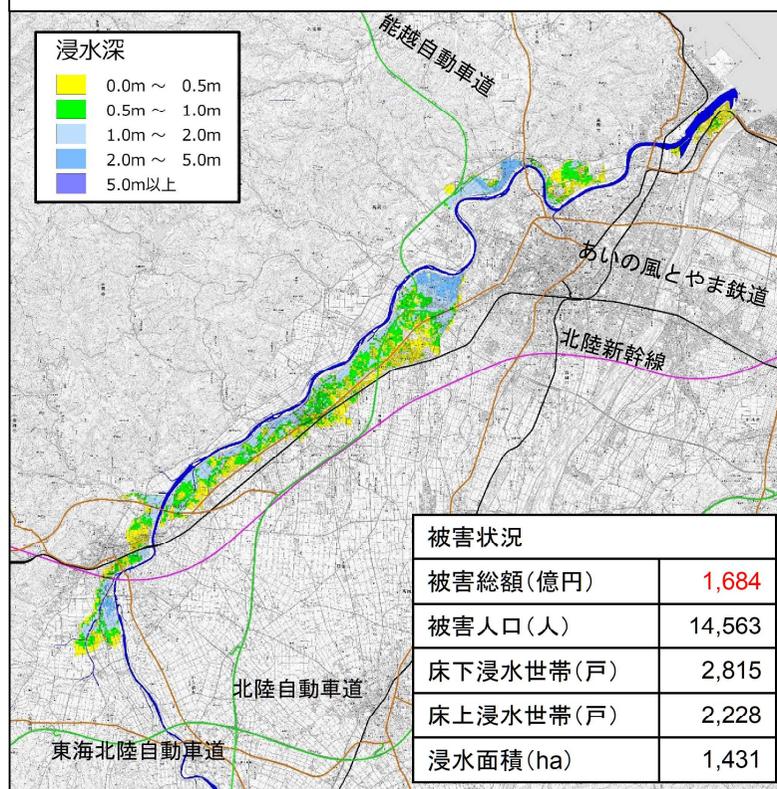
5. 事業の投資効果 (2) 氾濫シミュレーション結果 全体事業の投資効果

■ 事業実施により、戦後最大洪水と同規模の洪水が発生した場合の想定氾濫被害が、被災人口で約14,600人、床上浸水戸数で約2,200戸、浸水面積で約1,400ha解消される。(図5-1)

戦後最大規模と同規模の洪水における浸水区域 (図5-1)

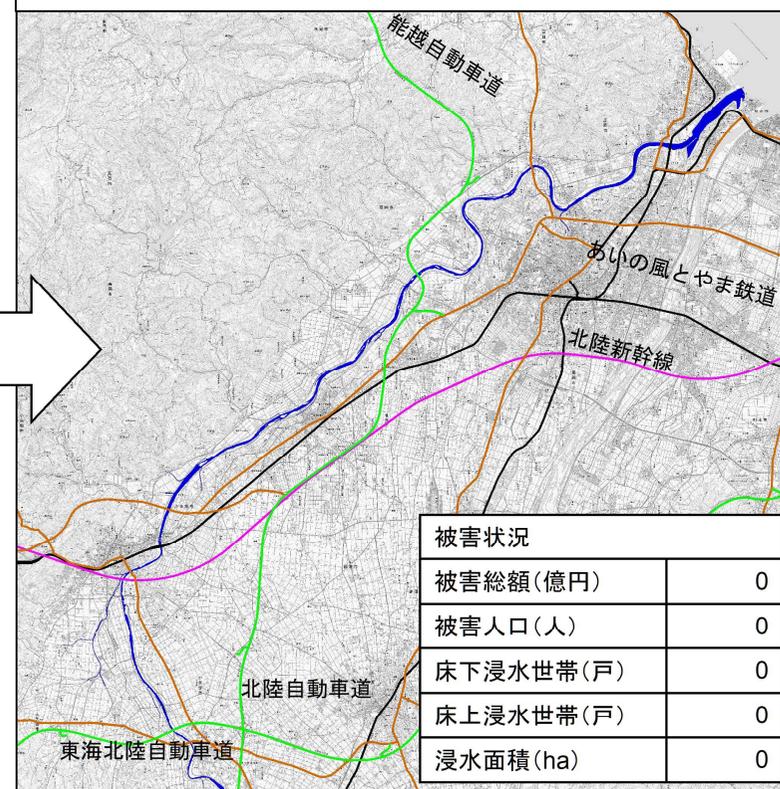
①事業を実施しなかった場合

【河川整備計画着手時点 (平成26年度末時点 (2014年度))】



②事業を実施した場合

【河川整備計画完了時点 (令和26年度末時点 (2044年度))】



※ 上図は「治水経済調査マニュアル(案)」に基づき、各氾濫ブロックで被害が最大となる破堤地点1箇所からの想定氾濫区域及び浸水深を示しているものであり、この他にも破堤が想定される箇所は存在する。

② 反映資料

今回の修正に伴う小矢部川水系流域委員会ホームページにおける対応

- 現在、小矢部川水系流域委員会ホームページには、令和3年11月開催の第2回小矢部川水系流域委員会の資料を掲載しているところ。
- 今回の資料修正を踏まえ、閲覧される方々に誤解が生じることを防ぐための下記対応を予定

対応1 第2回小矢部川水系流域委員会の資料一覧のページ、及び委員会配付資料PDF表紙に、修正前段階の資料である旨の注意書きを追加。

▼ 配付資料表紙に注意書きを追加

小矢部川水系流域委員会ホームページ

国土交通省 北陸地方整備局
富山河川国道事務所
Toyama Office of River and National Highway

ホーム | かわの情報 | みちの情報 | 各種情報 | サイトマップ | リンク

かわの情報 & 資料

小矢部川水系流域委員会

北陸地方整備局では、「小矢部川水系整備計画（国管理区間）」策定後の流域の社会情勢の変化や地域の意向等を適切に反映できるよう、その内容を点検した結果に関して、意見を述べることを目的として「小矢部川水系流域委員会」を設置しています。

～中略～

第2回小矢部川水系流域委員会]
開催日時：令和3年11月11日（木）15:00～16:00
場 所：富山 河川国道事務所 3階大会議室（WEBを併用）
議事次第：
1. 開会
2. 出席者の紹介
3. 規約
4. 議事（進行：玉井委員長）
（1）事業再評価（資料1）
5. 閉会

（配付資料）
・議事次第【PDF:32KB】
・出席者名簿【PDF:60KB】
・議次表【PDF:76KB】
・小矢部川流域委員会 規約【PDF:96KB】
・資料1 事業再評価資料【PDF:9.24MB】
・小矢部川河川改修事業様式集【PDF:788KB】

（議事要旨）
・議事要旨【PDF:100KB】

※本資料は、第2回小矢部川水系流域委員会（令和3年11月11日開催）当日の配付資料です。
「治水経済調査マニュアル（案）各種資産評価単価及びデフレーター（令和3年3月）」における各種資産評価単価の訂正を行う前の段階での資料です。
修正後の資料は、第3回小矢部川水系流域委員会（令和●年●月●日開催）当日の配付資料となります。

資料1

※本資料は、第2回小矢部川水系流域委員会（令和3年11月11日開催）当日の配付資料です。
「治水経済調査マニュアル（案）各種資産評価単価及びデフレーター（令和3年3月）」における各種資産評価単価の訂正を行う前の段階での資料です。
修正後の資料は、第3回小矢部川水系流域委員会（令和●年●月●日開催）当日の配付資料となります。

**河川事業の再評価説明資料
〔小矢部川直轄河川改修事業〕**

令和3年11月
国土交通省北陸地方整備局
富山河川国道事務所

小矢部川河川改修事業
費用対便益算出資料
〔様式集〕

様式-1 ブロック分断面
様式-2 費用データ

口置川河川改修事業
様式-3 縦断図
様式-4 年平均経費削減期待値
様式-5 費用対便益

口置川分析
様式-6 費用対便益

様式-6 事業費の内訳書

令和3年11月
国土交通省北陸地方整備局
富山河川国道事務所

対応2

今後公開予定の第3回小矢部川水系流域委員会の資料一覧のページ、及び委員会配付資料PDF表紙に、修正後の資料である旨のコメントを追加。